

## 令和 5 年度 事業報告

(令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日)

### 事業報告

当会では、定款第 4 条第 1 項の規定に基づき、同項各号に掲げる事業を実施した。

- ・安全で良質な学校給食の食材の安定的な調達に関する事業（同項第 1 号）
- ・学校給食における食育の推進、地産地消の推進に関する事業（同項第 2 号）
- ・食材、地産地消及び食育についての情報発信に関する事業（同項第 3 号）

#### (1) 学校給食用食材調達事業

教育委員会事務局作成の給食献立に基づき、実施日毎の給食人員を確認のうえ納入数量を算出し、安全で良質な食材を納入業者から廉価で安定的に調達し、学校、共同調理場及び民間調理事業者に納品した（※副食（おかず）食材を調達。主食（パン・米飯）、牛乳は教育委員会事務局が調達）。物価高騰に対しては、市の負担金により、質を落とさず食材調達を行うことができた。

##### ア 学校給食用の食材の供給

(ア) 小学校及び義務教育学校（前期課程）、特別支援学校

学 校 数：169 校 対象人数：78,385 人

献立回数：191 回（年間給食数 14,500,275 食）

(イ) 中学校及び義務教育学校（後期課程）

学 校 数：82 校 対象人数：36,428 人

献立回数：196 回（年間給食数 2,991,906 食）

##### イ 食材の安全管理

(ア) 理化学的検査・細菌学的検査 定例検査延 263 品目・866 項目/年

(イ) 放射性物質検査 加工品/9 検体/年（冷凍牛肉 2 検体・冷凍液卵 4 検体、アップルゼリー、白ねぎ、ふりかけ（えごま））

(ウ) 残留農薬検査 生鮮野菜・冷凍野菜/24 品目/年・205 項目/食品

除草剤グリホサート検査（チンゲン菜・小松菜）

殺虫剤ネオニコチノイド系検査（水菜）

(エ) 製造工場等への立ち入り調査 14 工場/年、フォロー指導 1 工場/年

##### ウ 給食中止による不用食材の食材補償及び食品ロス対策

(ア) 食材補償 4,132,851 円

気象警報発表や新型コロナウイルス感染症などによる給食中止で、転用できずに廃棄せざるを得なくなった不用食材について、納入業者に対し食材補償を行った。

(イ) 食品ロス対策 2 団体 1,933,325 円

上記のうち寄付可能食材については、フードバンクへ寄付を行った。

## (2) 食育・地産地消推進事業

### ア 食育支援事業

#### (ア) 神戸っ子農業体験事業「ル\*ル\*ルプログラム」(※)

神戸市の「こうべ給食畑推進事業」に参画する北区・西区の農業生産者・J A・経済観光局との協働で、小学生等を対象に農業体験事業を実施した。(令和5年度 5校 448人参加)

(※「ル\*ル\*ル」は、「育てる」「収穫する」学校給食で「食べる」の3つの“る”をとり命名)

#### (イ) 「神戸っ子食育応援団プログラム」—企業等の食育プログラムを紹介

学校給食に食材を提供する登録企業及び関連企業の食育プログラムを冊子にまとめ、学校に情報提供することで、公民連携により小学校での食育を支援した。(令和5年度 オンライン授業 14校、出前授業・工場見学等 16校、計 2,509人参加)

中学校においても、令和5年度は以下の食育支援事業を実施した。

- ・「神戸っ子おさかな教室」(令和5年度 4校 401人参加)
- ・「ビーフンを通した食育プログラム」(令和5年度 2校 44人参加)
- ・「にんじん調理教室」(令和5年度 1校 116人)

#### (ウ) 「神戸っ子みそづくりプログラム」

兵庫六甲 J A神戸北女性会との協働で小学3年生「すがたをかえる大豆」の学習から、さらに広く「食」に関する多様な知識の習得や経験ができるよう「みそづくり」体験を実施した。

(令和5年度 6校 327人参加)

#### (エ) 「神戸っ子 SDGs プログラム」

スイートコーン生産者、J A、建設局下水道部との協働で小学4年生を対象に、「こうべハーベスト」(下水中から効率的に回収したリンを使った環境にやさしい資源循環型肥料)で育てたスイートコーンの収穫体験・出前授業を実施した。(令和5年度 1校 138人参加)

#### (オ) 「神戸っ子おにぎりプログラム」

地元産の食材(市内産の米と兵庫県産の海苔)を使用して、日本の伝統食であるおにぎりづくりを行う事業を実施した。また、学校の希望に応じて給食会から外部講師(NPO、農業生産者等)の紹介も行った。防災・食事の栄養バランス等を学ぶことにもつながった。(令和5年度 31校 2,361人参加)

#### (カ) 「食育動画の作成」

上記プログラムを体験していない児童生徒も含め、全校に対し食育支援できるよう、令和4年度より「こうべ旬菜」等を紹介する動画を作成・配信している。

(令和5年度作成動画「にんじん」「神戸産大豆」)

### イ 地産地消推進事業

#### (ア) 小学校及び義務教育学校(前期課程)、特別支援学校

令和5年度 市内産生鮮野菜使用量 193.1 t / 1,340.6 t (全体)

#### (イ) 中学校及び義務教育学校(後期課程)

令和5年度 市内産生鮮野菜使用量 33.5 t / 240.1 t (全体)

※(ア)、(イ)いずれも、米については市内産を100%使用

※小・中学校あわせた使用割合 14.3%

(市内産生鮮野菜使用量等の推移)

(単位: t)

| 年度        | 平成30  | 令和元   | 令和2   | 令和3   | 令和4   | 令和5   |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 市内産使用量(①) | 209   | 223   | 163   | 203   | 216   | 227   |
| 全体量(②)    | 1,383 | 1,284 | 1,244 | 1,486 | 1,478 | 1,581 |
| 使用率(①÷②)  | 15.1% | 17.4% | 13.1% | 13.7% | 14.6% | 14.3% |

(ウ) 地産地消の更なる推進

「学校給食における『こうべ旬菜』等の利用推進会議」のメンバーが連携し、令和4年度からキャベツやにんじんにおいて、これまで学校給食で使用されていない規格・サイズを積極的に活用してきた。キャベツについては市内産使用率が向上したが、にんじんについては天候不順等による生育不良により低下した。

- ・キャベツ 令和5年度 54.5% (93,947 kg／172,498 kg)  
令和4年度 48.6% (79,744 kg／163,942 kg)
- ・にんじん 令和5年度 9.2% (30,429 kg／329,576 kg)  
令和4年度 11.8% (37,990 kg／322,705 kg)

また、近年学校給食で使用されてこなかった「大根」を使用するとともに、「神戸産大豆」を初めて提供した。

(エ) 学校給食用「地産地消加工品」の開発

企業（登録事業者等）、J A、農業生産者、神戸市との協働で、市内産野菜を活用した加工品を開発し学校給食に提供することで、食育・地産地消の推進に貢献した。令和5年度は、「にんじんコロケ」を新たに開発し、中学校給食で提供した。

(3) 情報発信

ホームページその他の媒体により、学校給食用の食材、食品検査結果等の安全対策とともに、地産地消や食育の取り組み等に関する事業内容の紹介を充実するなど、情報発信の強化を図った。加えて、SNSを使用し、日々の献立写真の発信や食育支援事業の紹介を行った。